



2017年3月期 決算説明会

2017年4月26日
株式会社トーメンデバイス

免責事項



本資料に掲載されている株式会社トーメンデバイスの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、事業等のリスクや不確実の要因によっては、大きく変化する可能性があります。従って、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断に基づいて行っていただきますようお願い申し上げます。

2016年度 決算概況

2017年度 見通し

さらなる成長を目指して

連結業績サマリー

減収となるが、当期純利益は増益、増配へ

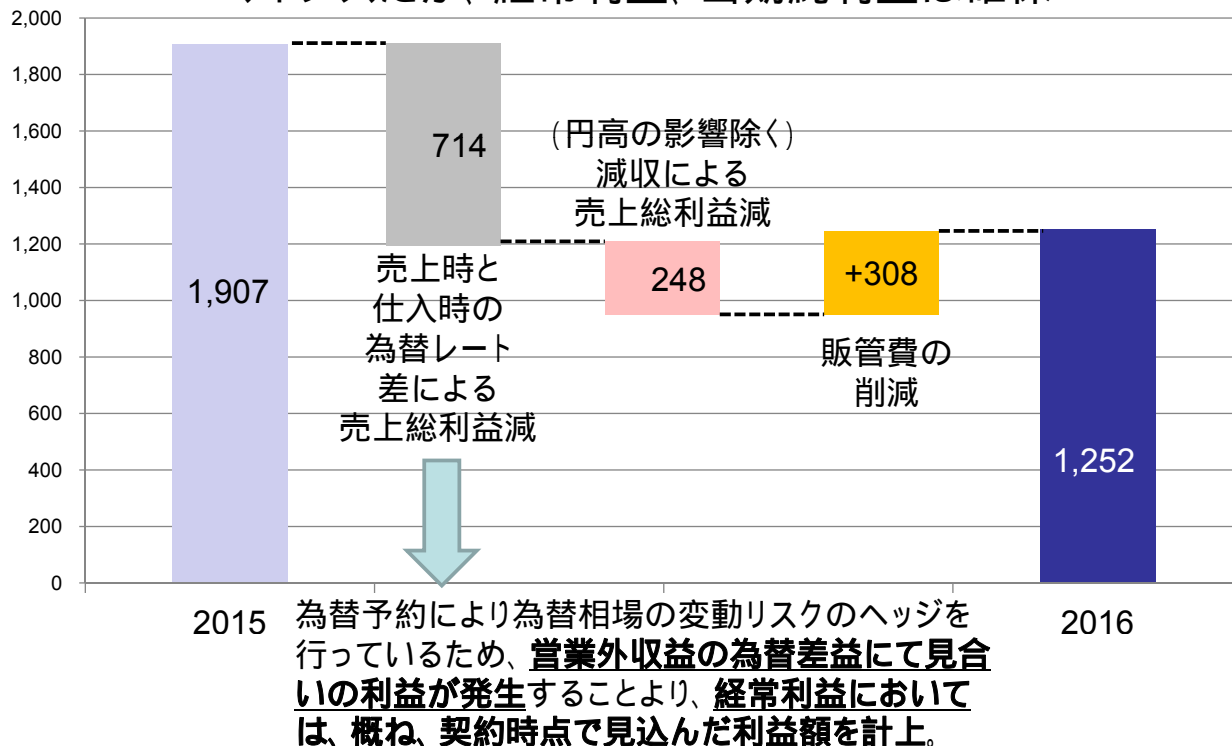
(単位:百万円)	2015	業績予想 (2016/10/28)	2016	増減額 (対2015)	増減率 (対2015)
売上高	189,372	145,000	156,677	32,695	17.3%
売上総利益	4,261	—	3,299	961	22.6%
営業利益	1,907	1,100	1,252	654	34.3%
経常利益	1,779	1,400	1,690	89	5.0%
当期純利益	1,177	1,000	1,230	+52	4.5%
総資産	56,656	—	70,519	—	—
純資産	25,485	—	26,448	—	—
1株当たり純資産(円)	3,735.11	—	3,873.53	—	—
自己資本比率	44.8%	—	37.4%	—	—
ROE	4.7%	—	4.8%	—	—
年間配当金(円)	50.00	50.00	60.00	+10.00	20.0%
配当性向	28.9%	34.0%	33.2%	—	—

営業利益増減要因



急速に進んだ円高の影響により、売上高営業利益は大きくマイナスだが、経常利益、当期純利益は確保

(単位:百万円)

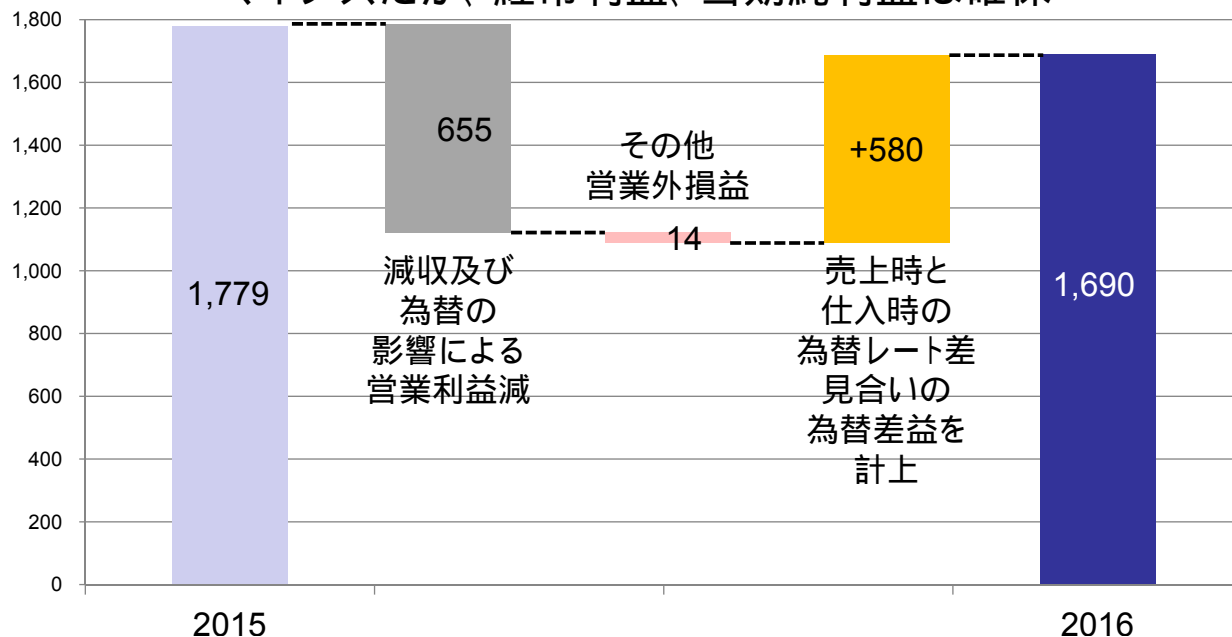


経常利益増減要因



急速に進んだ円高の影響により、売上高営業利益は大きくマイナスだが、経常利益、当期純利益は確保

(単位:百万円)



Positive

- メモリー価格が上期の下落傾向から一転、下期から急騰
- 世界的にスマートフォン需要は比較的堅調。特に、中国でスマートフォン向けCMOSイメージセンサーの販売が増加
- PC、サーバー、ストレージ等向けにSSDの販売が増加

Negative

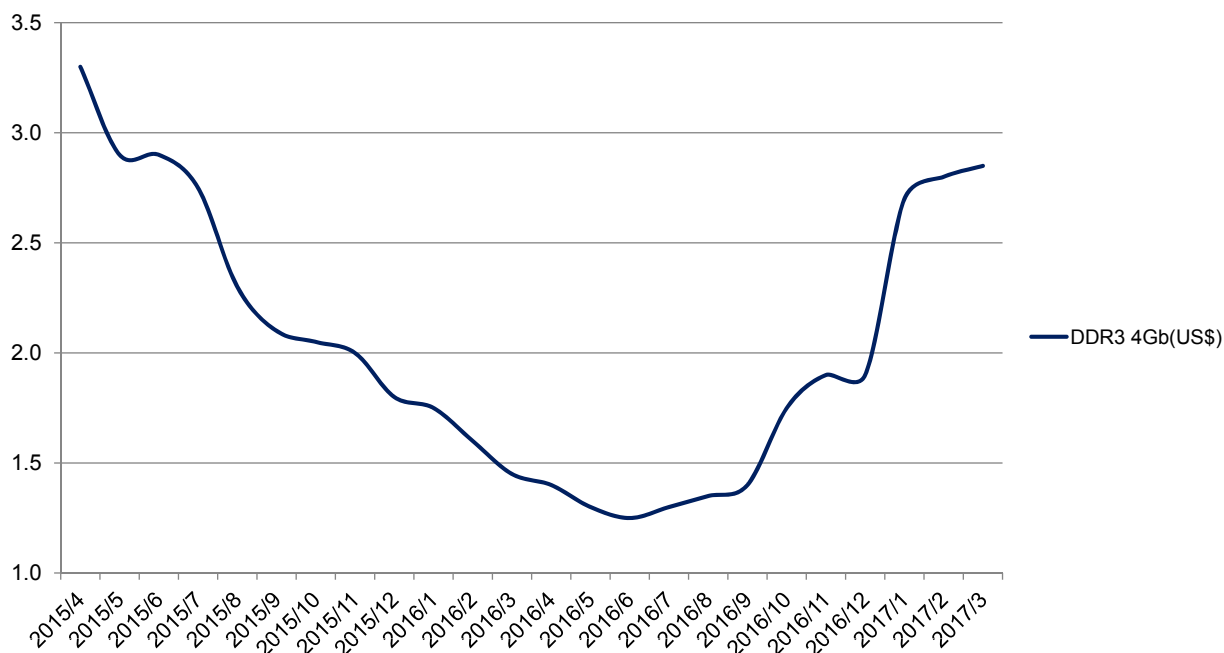
- 中国で大口顧客向けの物量(NAND Wafer、液晶パネル)の確保が困難に
- スマートフォン市場中心に、日系家電メーカーの苦戦続く
- 急速な為替変動

6

DRAM価格推移 (15年4月～17年3月)

7月から値上がり傾向。物量の確保が困難に

(単位:USドル)



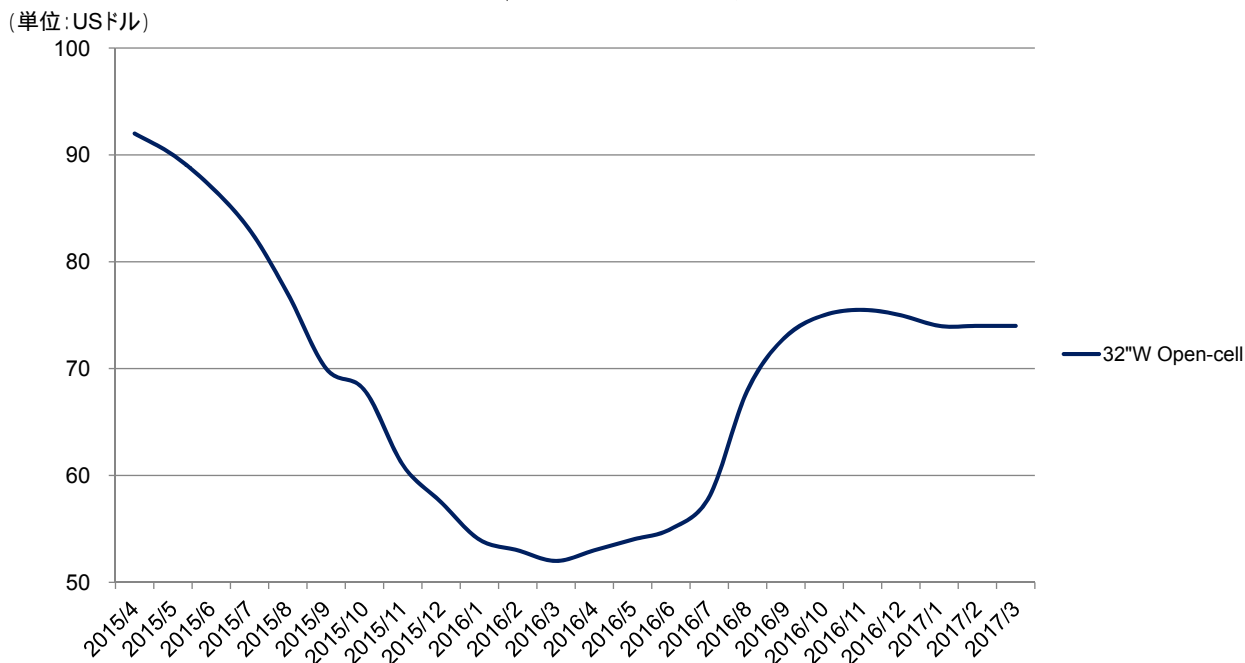
(出所) 各種資料をもとに当社で作成

7

液晶パネル価格推移 (15年4月～17年3月)



前半は上昇傾向、後半から落ち着きを取り戻す

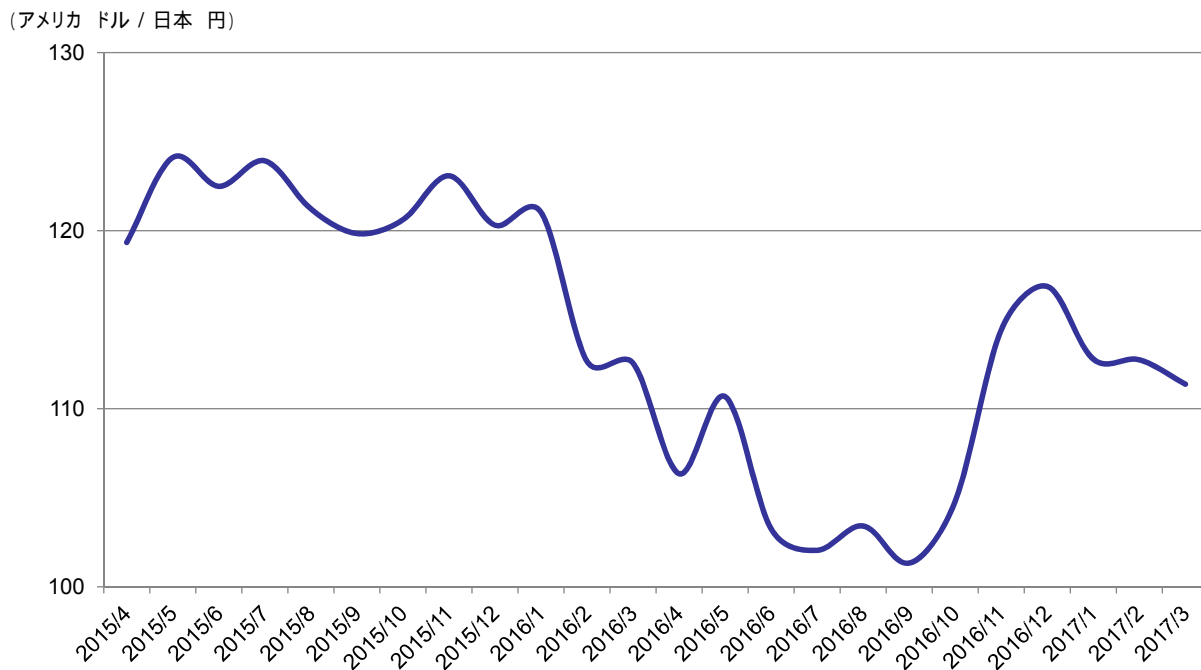


(出所) 各種資料をもとに当社で作成

為替レート推移 (15年4月～17年3月)



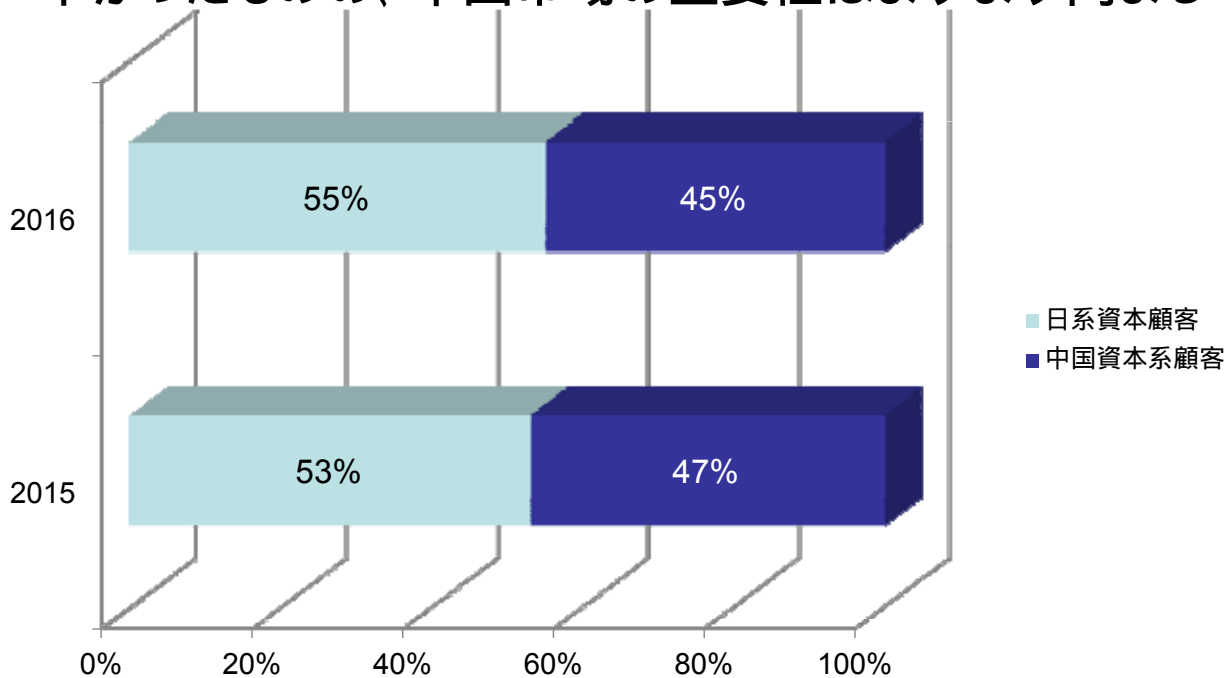
2016年に入り、急速な為替変動



日本、中国(現地)系顧客別売上比率



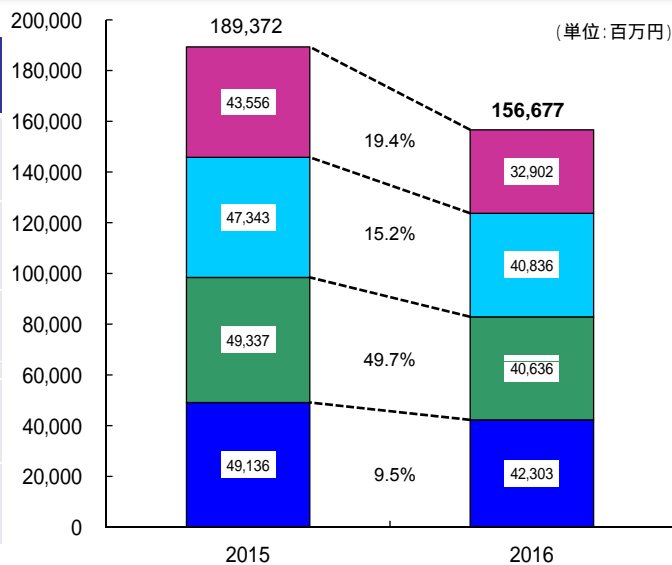
為替の影響もあり、対前年比で中国比率は若干下がったものの、中国市場の重要性はますます高まる



用途別売上高の構成推移



(単位:百万円)	2015	2016	増減率 対前年比
情報機器	43,136	42,303	13.9%
デジタル家電	49,337	40,636	17.6%
移動体通信	47,343	40,836	13.7%
その他	43,556	32,902	24.5%
合計	189,372	156,677	17.3%



情報機器

後半からメモリー価格が急騰
PC市場は低迷、サーバービジネスはマイナス

デジタル家電

日系TVメーカー向けビジネスは比較的好調
中国TV向け液晶パネルビジネス大幅減

移動体通信

中国でCMOSイメージセンサビジネス引き続き好調
国内スマートフォンビジネスは不振

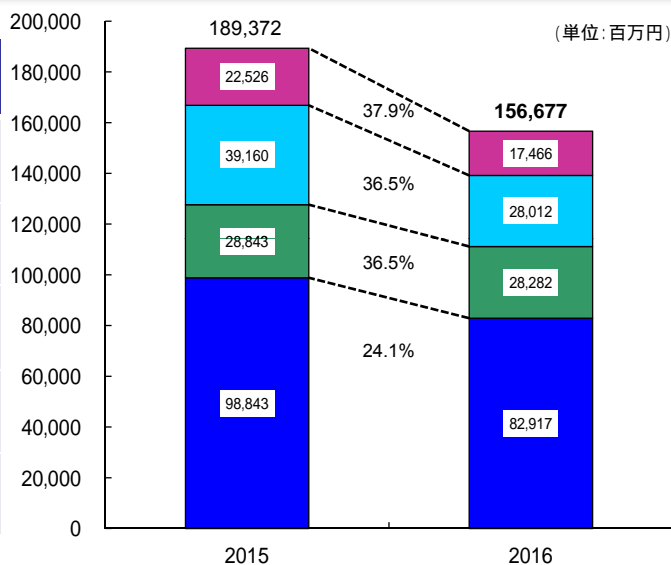
その他

NAND価格回復基調へ、但し供給問題発生
中国でNAND Waferの物量確保が困難に

商品別 売上高推移



(単位:百万円)	2015	2016	増減率 対前年比
メモリー	98,843	82,917	16.1%
システムLSI	28,843	28,282	1.9%
液晶	39,160	28,012	28.5%
その他	22,526	17,466	22.5%
合計	189,372	156,677	17.3%



メモリー

後半、DRAM、NAND価格は急上昇
価格上昇の一方、供給が困難に

液晶

液晶パネル価格も下落傾向から復調
価格競争の影響で中国TV市場での販売が不振

システムLSI

引き続き中国市場で携帯電話用途向けCISが好調
TV、タブレット用途向けDDIの販売が伸びず

その他

国内スマートフォン向けの有機ELのシェア確保
TVバックライト用LEDビジネスが不振

12

本日の内容



2016年度 決算概況

2017年度 見通し

さらなる成長を目指して

13

既存ビジネスでの拡販活動を行う一方、
新規市場・領域に向けた取り組みを進めていく。

(単位:百万円)	2016	2017計画	増減	前期比
売上高	156,677	160,000	+3,323	+2.1%
営業利益	1,252	1,850	+598	+47.7%
経常利益	1,690	1,700	+10	+0.6%
当期純利益	1,230	1,250	+20	+1.6%
1株当たり当期純利益	180.86	183.78円	—	—
1株当たり当金	60.00円	60.00円	—	—
配当性向	33.2%	32.6%	—	—
R O E	4.8%	4.9%	—	—

当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

連結配当性向30%程度を目処としております。

Positive

- スマートフォンの高容量化により、メモリー需要も安定傾向が続くと予想
- SSD搭載率(PC、サーバー等)の伸びは順調

Negative

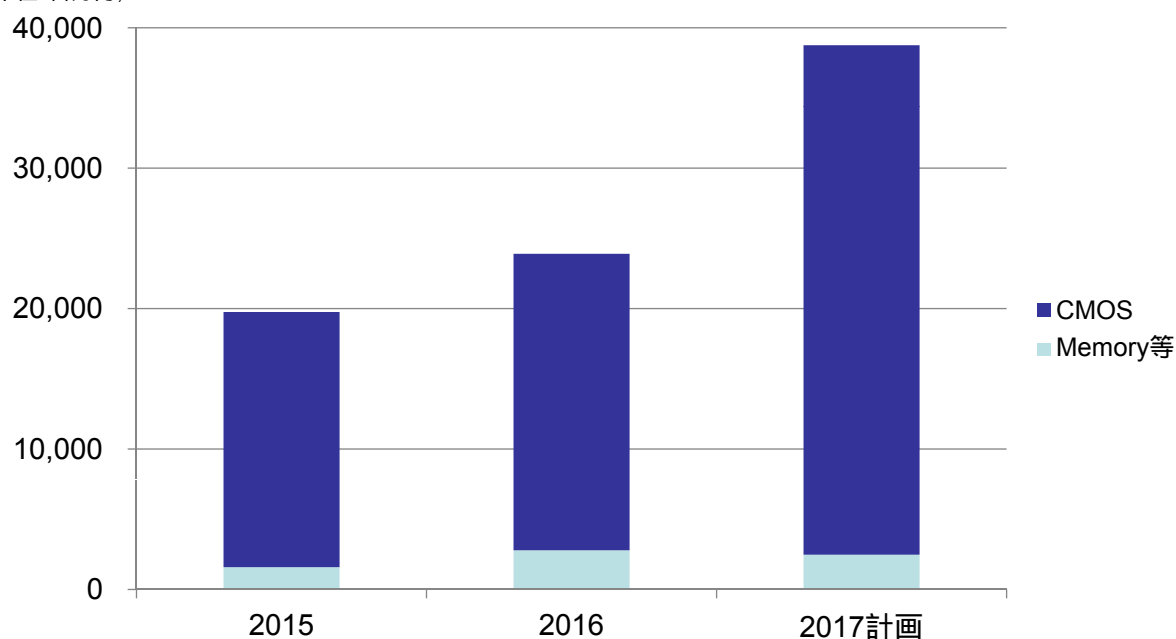
- スマートフォン以外のデジタル家電、PCの需要回復は見えぬ
- 日系スマートフォンメーカーの苦戦が続く
- メモリー(DRAM/NAND)の供給不足が続く見込み

中国スマートフォン用途向け売上計画



技術対応等を強化し、CMOSイメージセンサを更に拡販

(単位:百万円)



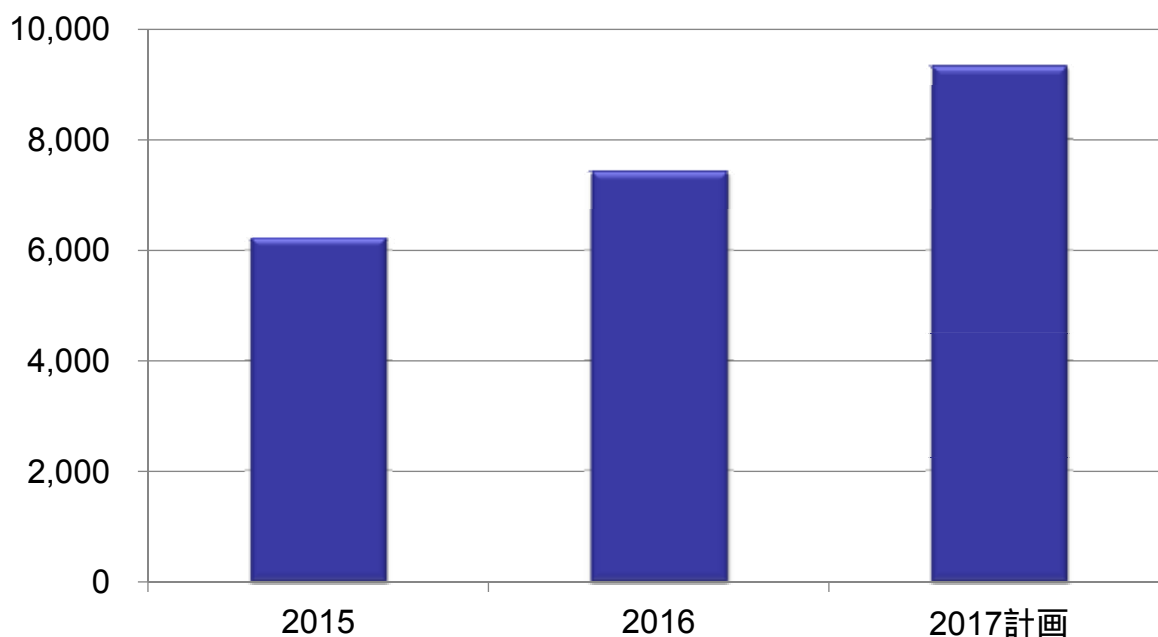
16

当社SSD売上計画



PC、サーバー、エンタープライズ等、
様々な用途向けに販売促進

(単位:百万円)



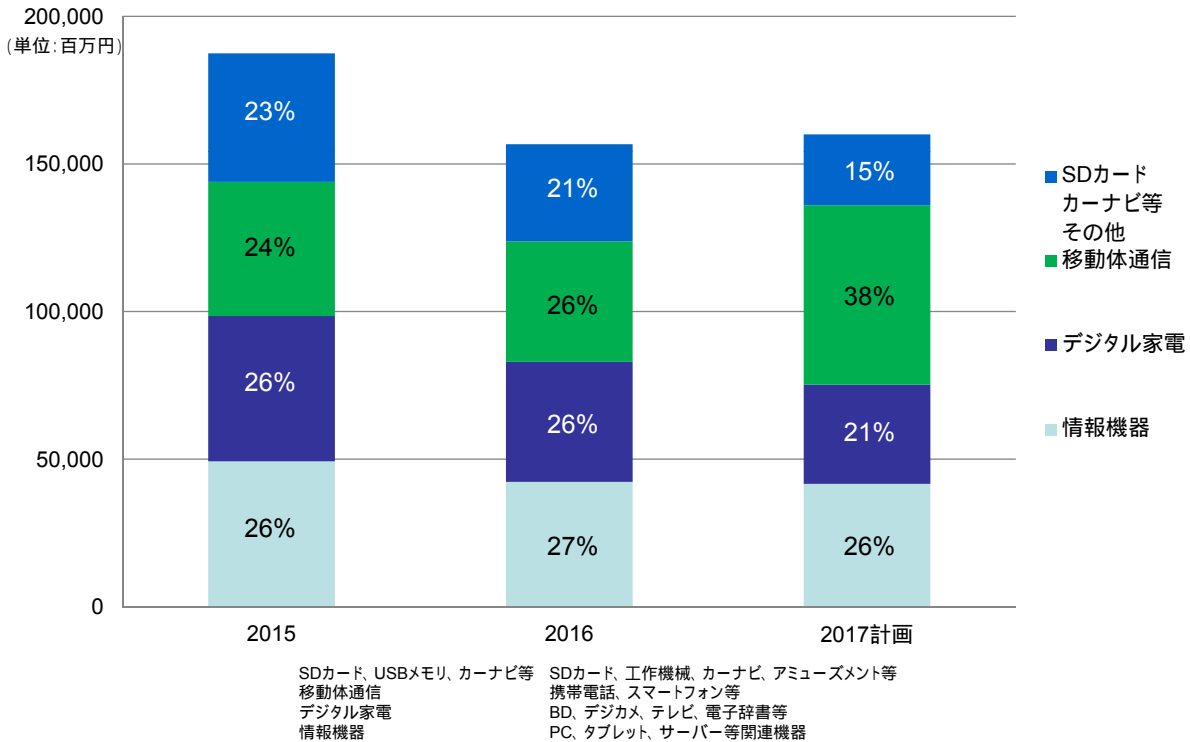
2017計画には、ストレージ向けNAND FLASHの売上も含まれております。

17

用途別売上高の構成推移



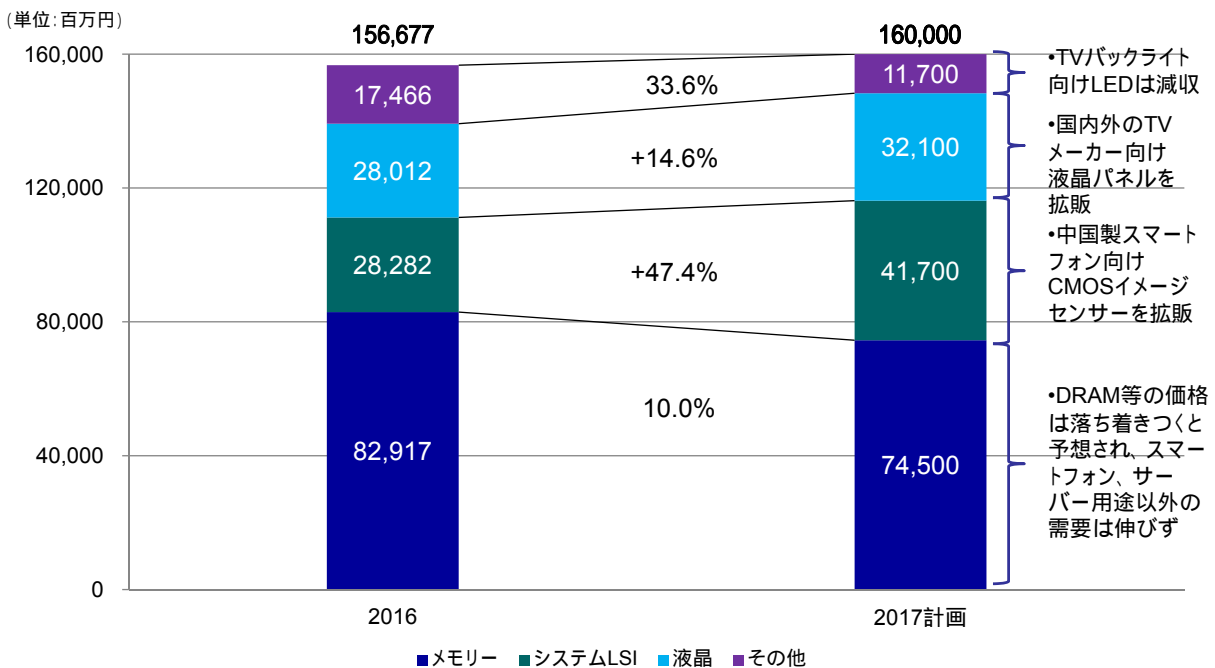
中国市場でスマートフォン向けビジネスを更に強化



2017年度 商品別売上計画



供給力を更に強化し、注力分野で拡販を実施



2016年度 決算概況

2017年度 見通し

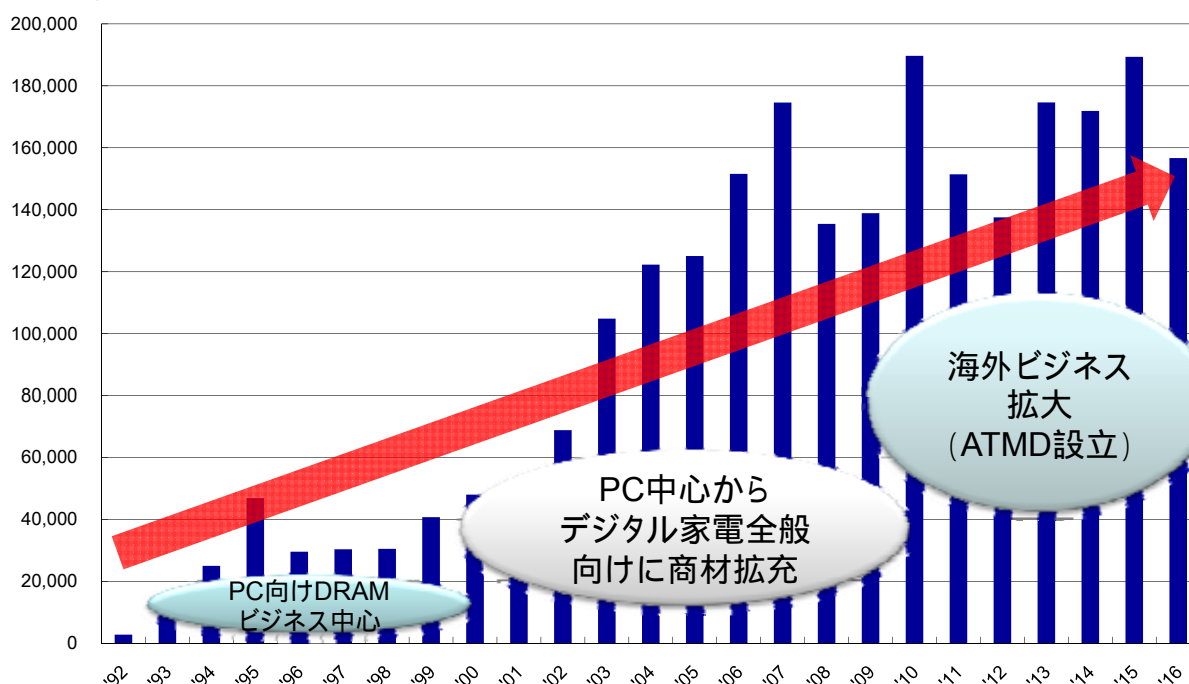
さらなる成長を目指して

これまでの当社



設立からこれまで順調にビジネスを拡大

(単位:百万円)



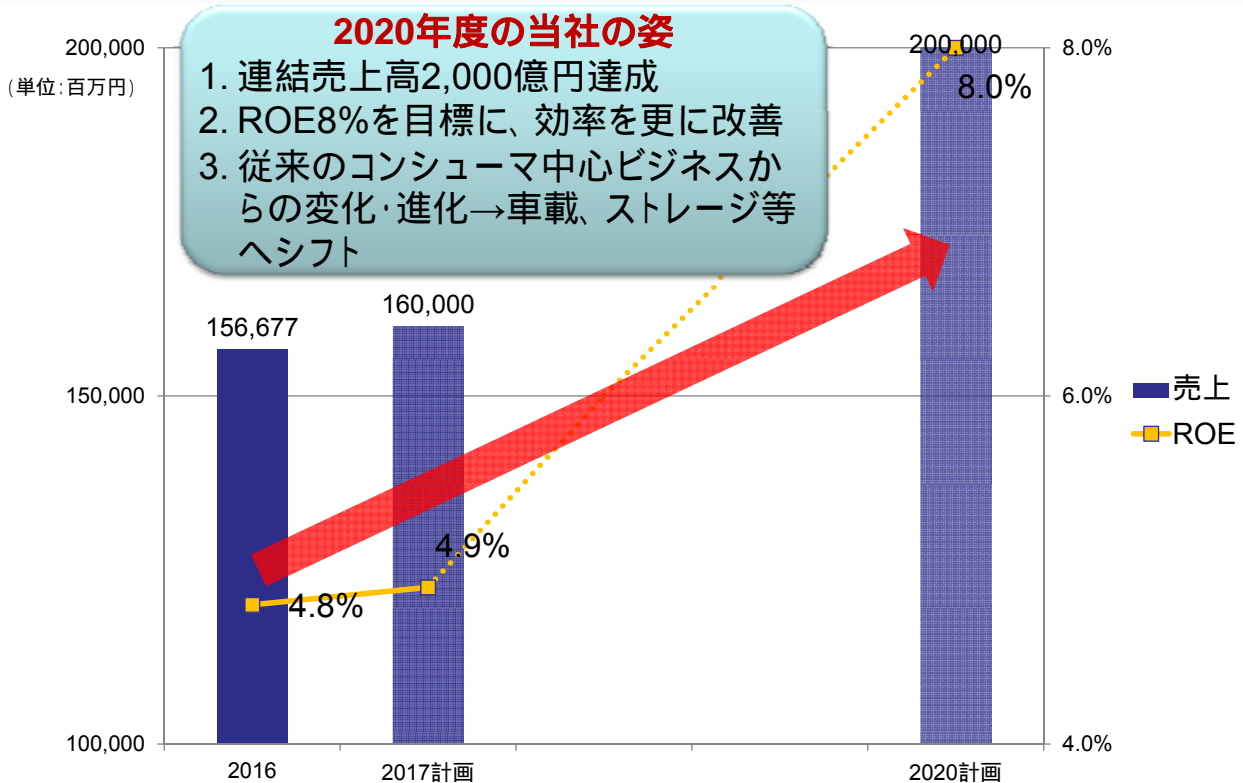
当社

- 収益力 (ROE) 低下
- 顧客の事業再編の影響
- 中国偏重の海外ビジネス
- コンシューマー向けビジネス比重大

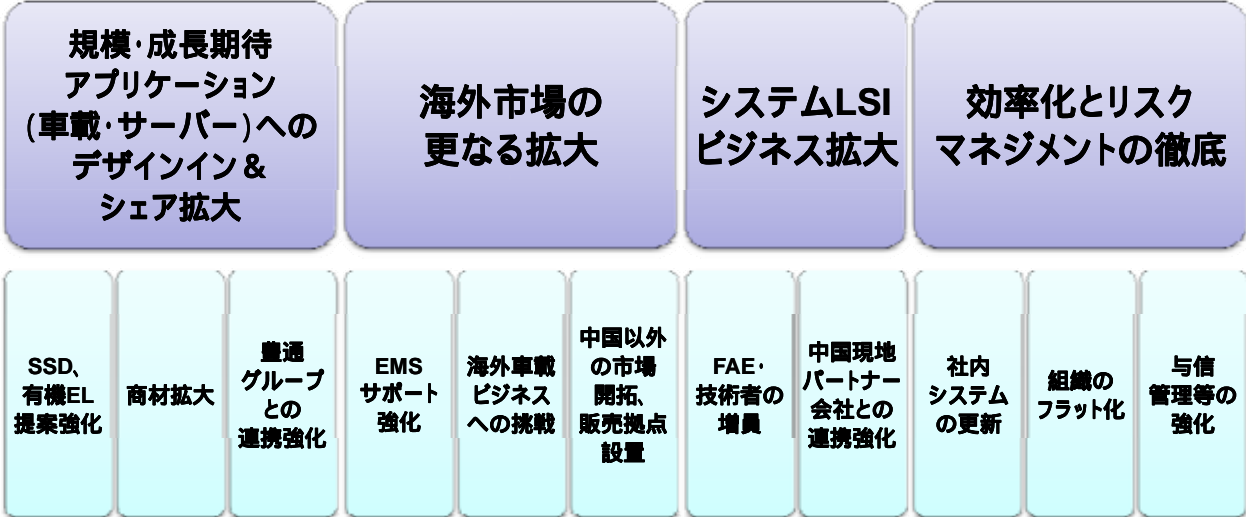
環境

- 国内コンシューマー市場の縮小
- ビッグデータ、クラウド市場活性化
- 車載半導体市場の拡大
- SSD、有機EL採用ケース増

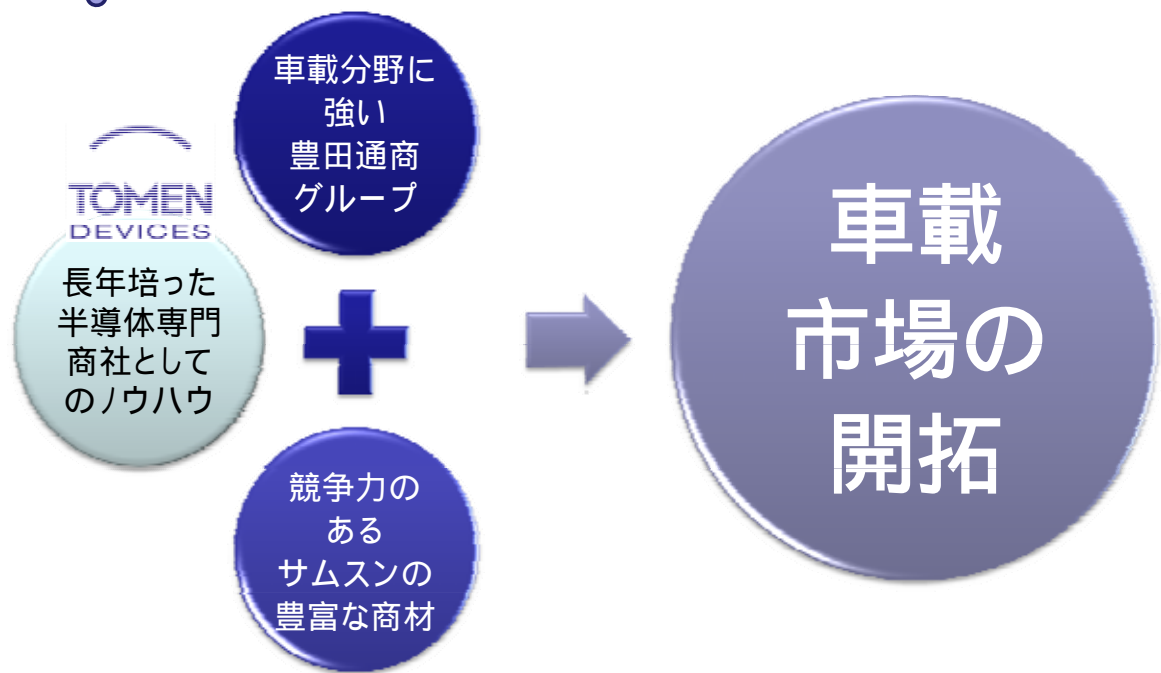
更なる成長を目指して



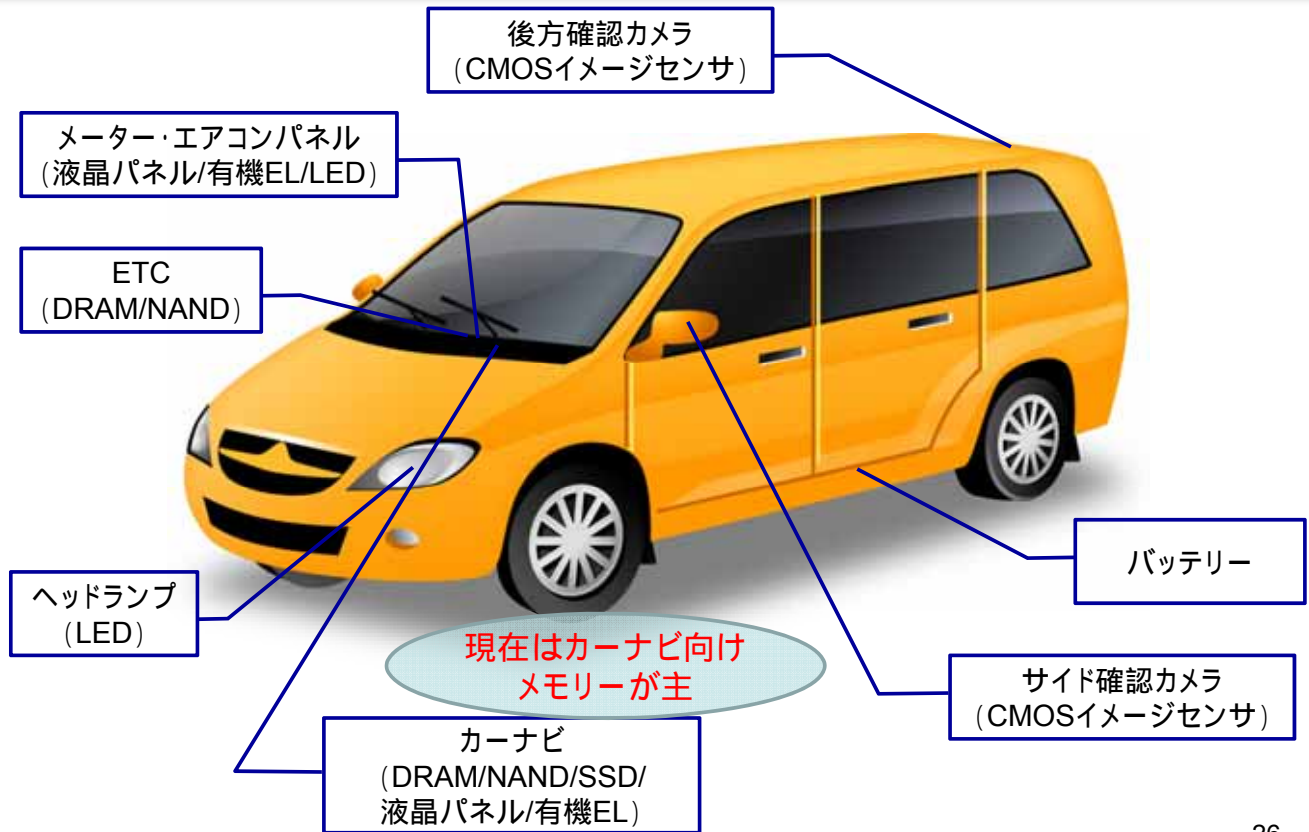
連結売上高2,000億円を達成し、ROE8%を目指す



高い競争力を持つサムスングループとの関係と
豊田通商グループとの連携を強みとした事業展開を更に推進



車載半導体・電子部品の可能性

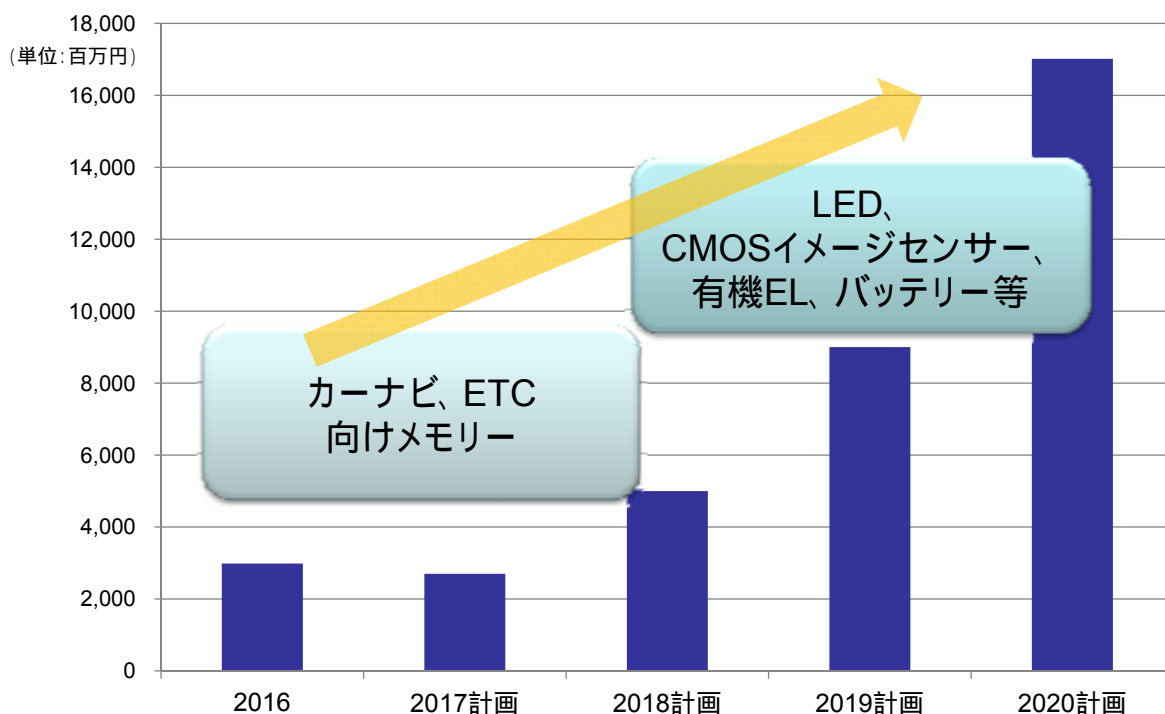


26

車載向け売上計画



車載用商材を拡充し、市場を開拓

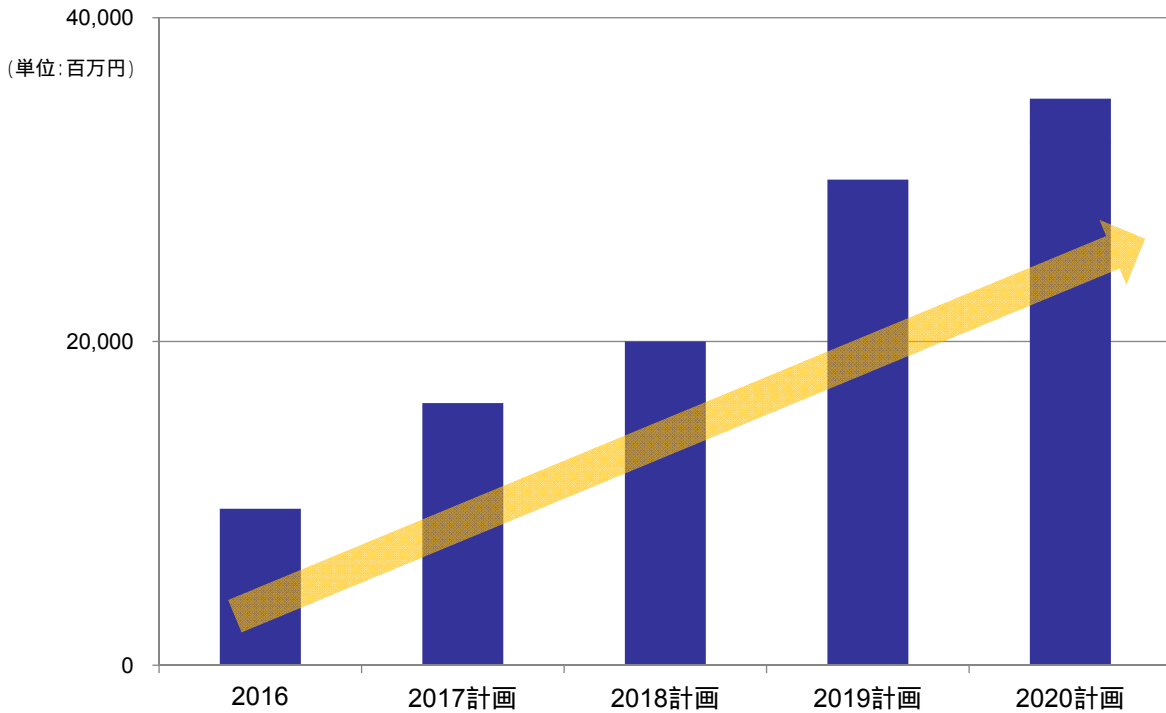


27

サーバー、ストレージ向け売上計画



競争力の高いメモリー (DRAM、SSD) を武器に売上を伸ばす



(ご参考) 配当計画 (1株当たり)



配当性向30%を目処に今後も安定配当

